

附 錄

學 事 ノ 狀 況

總 說

大正九年度ニ於テ掌理シタル教育事務ノ梗概ヲ叙述スレハ小學教育ニ在リテハ從來ノ如ク就學及出席ノ督勵ニ力メ以テ教育ノ普及徹底ヲ期シ理化實驗ニ就テハ設備ヲ完成シ又體操科ニ就テハ益上進ヲ圖リタリ實業補習教育ニ在リテハ文部省ヨリ講師派遣ヲ得テ講習會ヲ開キ又國庫補助金ノ交附ヲ得更ニ縣郡ヨリモ相當ノ補助金ヲ實業補習學校ニ交附シテ其ノ發達ヲ計レリ師範其ノ他中等教育ニ在リテモ益改善充實ヲ圖リ前二年度ニ於ケル師範一校、公私立中學校各一校ノ火災復舊工事モ本年度ニ於テ略竣功シ教授管理ノ便ヲ得タリ其ノ他社會教育ニ在リテモ益指導獎勵ニ努力シ大ニ其ノ成績ヲ學クルニ至レリ

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ男六萬三千三百八十八人女五萬七千六百五十三人ニシテ其ノ内就學ノ始期ニ達シタル者五萬三千二百八十六人、女五萬十五人ナリ即チ就學ノ歩合ハ男九十九人四分七厘、女九十九人八厘平均九十九人二分八厘ニシテ前年ニ比シ男一厘ヲ減シ女四厘平均二厘ヲ増シタリ兒童就學ニ關シテ法令ニ依リ之ヲ督責シ或ハ教育會學齡兒童保護會等ノ事業トシテ貧窮兒童ニ對シ食費若ハ學用品ヲ給與貸與シタルモノアリ又本縣教育資金中ヨリ金員ヲ交附シテ補助獎勵セリ

小 學 校

學校設置廢止並設備 學校ノ尋常百十二、尋常高等百六十四、高等ニシテ外ニ分教場百二十アリ之ヲ前年ニ比スルニ尋常十一、分教場二ヲ減シ尋常高等六ヲ増シタリ設備ニ於テハ各學校殆ト完成シ教授管理支障ヲ見ス

學級 尋常千八百五十九、高等二百七十六ニシテ前年ニ比シ尋常三十六、高等三十八ヲ増シタリ

二部教授 校舍營繕ノ爲一時二部教授ヲ爲シタルモノアリ補習科及加設科目 尋常補習ヲ置クモノ一、高等補習ヲ置クモノ一校アリ又加設科目ヲ課スル學校ハ尋常百三十四、同分教場三十四、高等百四十三アリ

● 授業料 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵スルモノ福井市八校敦賀町三校アルノミナルモ高等小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルモノ百四十五校アリ

教員 本科正教員ハ男子二百五十一人女四百八十三人計千七百三十四人ニシテ學級總數二千三百三十五ニ比スルトキハ四百一人ノ不足ナリ

俸給 教員俸給ハ前年來支給シタル臨時手當ハ中途之ヲ廢止シ更ニ俸給額ヲ増加シ待遇上遺憾ナカラシメタリ

勤續 本科正教員ノ勤續年數ヲ觀レハ三十年以上ノ者十六人二十五年以上ノ者二十五人二十年以上ノ者六十六人十五年以上ノ者百八十一人十年以上ノ者三百十五人五年以上ノ者四百十二人ナリ

幼 稚 園

幼稚園ハ市立一、町立一、私立九(外ニ分園一)アリ前年ニ比シ私立一ヲ減シタリ市立順化幼稚園ハ福井市立順化尋常小學校内ニ町立小濱幼稚園ハ遠敷郡小濱町ノ寺院内ニ設ケラル其ノ他私立ノ各幼稚園モ亦寺院境内又ハ基督教會内等ニ在リテ設備概シテ完全ナリ教科目ハ遊戯唱歌談話手技恩物等ニシテ植物細工泥土細工ヲ加フルモノアリ

盲 啞 學 校

私立福井聾啞學校 本校ハ大正四年三月吉田郡東藤島村ニ創立シ大正九年二月福井市日出下町ニ移轉シタルモノナリ敷地二百五十坪校舍百十八坪ヲ有シ其ノ内教室七十三坪ナリ器具圖書器械等多少ノ備品ヲモ有シ移轉前ニ比シ面目ヲ一新セリ從來個人經營ナリシモ十月中財團法人ノ組織ニ變更シタリ現在生徒十五人ヲ有スルカ生徒失官ノ原因ハ皆先天ノナリ

私立福井訓盲學舍 本舍ハ私立福井縣教育會カ盲人教育ノ爲施設スル所ニシテ從來日本赤十字社福井支部ノ一棟ヲ借受ケ經營シタルモ本年福井市豐島中町ニ新築移轉シタリ教授科目ハ點字按摩マツサージ鍼灸衛生理衛生修身國語算術歷史地理理科體操ニシテ修業年限四年ナリ生徒失官ノ原因ヲ掲ケレハ左ノ如シ

	男	女		男	女
營養不良	6	3	トヲホーム	1	—
麻痺	1	—	淋疾	—	1
角膜炎	—	1	先天的	1	1
火藥外傷	1	—	計	10	6

福井縣師範學校

學校ノ設備 敷地一萬三千三百二十五坪七合五勺建家千九百七十一坪一合四勺ヲ有シタリシカ本年度ニ於テ本校教室百九十五坪講堂百三十一坪寄宿舍四百三十二坪並同附屬建物百六十坪及附屬小學校舍二百九十四坪ヲ建築シテ大正八年十月中火災ニ罹リタルノ跡ヲ復興スルニ勉メ圖書器械標本等モ漸次購入シ以テ管理教授支障ナカラシメタリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ總テ二十二人ニシテ專任男十九人女三人ナリ今教員免許狀ヲ受得シタル事由ヲ掲ケレハ次ノ如シ

東京高等師範學校修身教育專修科卒業	1人
東京高等師範學校地理歷史部卒業	2人
東京高等師範學校物理化學部卒業	2人
東京高等師範學校英語專修部卒業	1人
東京高等師範學校體育科甲種本科卒業	1人
東京高等師範學校文科第二部卒業	1人

廣島高等師範學校第三部卒業	1人
廣島高等師範學校文科第一部卒業	1人
東京美術學校師範科卒業	1人
日本體育會體操學校卒業	1人
東京音樂學校師範科卒業	1人
神宮皇學館卒業	1人
農業教員養成所卒業	1人
試驗檢定	4人
以上男子	19人
東京女子高等師範學校卒業	1人
試驗檢定	1人
無試驗檢定	1人
以上女子	3人

教員ノ需要供給、勤績轉免及待遇 中等學校ノ増設ニ伴ヒ到ル所教員ノ不足ヲ告ケ本校ニ於テモ轉任八名退職二名休職二名ニ上リ之カ補充ニ腐心シタルカ幸ニシテ相當ノ有資格者ヲ得所要ノ定員ヲ充タシ教授上敢テ支障ヲ見ルニ至ラス教員勤績年數ハ五年未滿九人ニシテ十年以上ノ者七人ニ過キス俸給ハ漸次増加シ且年功加俸ヲ給セラル、者十四人ニ及ヒ奏任待遇四人アリ

生徒訓育 本年度ニ於テ特ニ實施シタル事項次ノ如シ
 生徒ノ思想著導ノ爲職員讀書會ヲ組織シ思想問題社會問題ヲ講究シ毎月一回當番者ヲシテ閱讀圖書ノ梗概報告會ヲ開キ又諸學科教授ノ際若ハ講堂訓話ニ於テ思想上ノ歸趨ヲ知ラシムルニカメ寄宿會ニ於ケル生徒讀物ノ選擇ニ注意シ不健全思想ノ防遏ヲ圖リ新聞教育主任ヲ置キテ月一回各記事ヲ概括講演ナ行ハシメ或ハ時事問題ヲ掲ケテ生徒ヲシテ筆答セシメテ思想ノ傾向ヲ察シ或ハ時々名士ノ講演ヲ請ヒ思想ノ善導ニ資シ又寄宿舍自治制ヲ布キ生徒ヲシテ寄宿舍細則ヲ起草セシメ舍生總會決議ヲ經監校長ノ決裁ヲ以テ施行セルニ立案公當ニテ良好ナル結果ヲ得タリ尙起草委員ノ選舉ニ就テハ投票公正ニシテ誠實トナリシコトヲ認メリ

社會教育ニ關シテハ十月三十日即三十周年勅語記念日ヲシテ本校及福井市内小學校二箇所ニ於テ職員生徒教育講演會ヲ開キタルニ聽衆頗ル多ク相當ノ效果ヲ收メ又一月二十五、六兩日間吉田郡青年團主催ノ永平寺ニ於ケル講習會ニ參加シ二月十一日男女生徒ノ音樂演奏會ヲ催シテ公開シタルニ來集スルモノ堂ニ溢レタリ其他福井市左内側通行ターニハ女生徒ヲシテ宣傳勳章ヲ一般通行人ニ頒與セシメタリ

尙前年度罹災後校舍寄宿舍ノ設備不完全ニ基ケル風紀弛緩ヲ認メ矯正防止ニカメタリ又舍生慰安ノ爲活動寫眞琵琶等ノ觀賞(校外ハ職員之ヲ引率ス)ヲ許シ節節日等地方ニ行ハルル年中行事ヲ催シテ家庭の趣味ヲ感セシムルト共ニ志操ノ涵養ヲ期シタリ

生徒學業ノ進否 災禍後各般ノ設備不完全ニシテ生徒學習上不利點ナカラサリシモ極力指導ノ結果學業成績前年ニ比シ敢テ遜色ナキヲ得タリ其ノ得點平均ヲ掲ケルハ次ノ如シ

	大正八年度		大正九年度	
	男	女	男	女
本科第一部	79.8	79.5	79.5	80.5
本科第二部	77.0	80.0	76.5	80.0

生徒修學旅行 生徒各自ニ關スル費用ハ前年ノ如ク自辨ヲ以テ旅行セシメタリ今其ノ旅行ノ種類等ヲ掲ケルハ次ノ如シ

管外旅行		人員	旅行地	日數
第三學年	男	30	京阪地方	9
第三學年	女	36	同	6
第四學年	男	30	東京方面	9
第四學年	女	31	東京方面	8
參觀旅行				
第四學年	女	19	遠敷三方敦賀ノ三郡	4
同	女	18	同	4
第二部	女	21	同	4
第四學年	男	17	吉田大野ノ二郡	4
同	男	14	坂井郡	4
第二部甲	男	22	南條今立丹生ノ三郡	4
同	乙男	18	足羽南條今立ノ三郡	4

白山旅行				
第三學年男全部		60	石川縣白山	6
第二部男ノ一部				

水泳旅行				
第一、二、四學年男		150	坂井郡米々脇	10
第二部男ノ一部				

臨海教育				
女生徒全部		170	敦賀郡杉津	9

遠足旅行 近郊數里ノ所ヘ一日若ハ半日間旅行數回 長距離競走 福井松岡間(二里) 一回施行 陸上運動會 二回 (内一回若越體育大會ニ參加)

入學志願者 比年漸減ノ趨勢アリ其ノ素質亦低下スルノ虞アリ殊ニ第二部生ハ志望者著シク少數ニシテ選抜試驗ノ結果所要ノ定員ヲ充タスコト能ハス途ニ追募集ヲ行ハタルモ尙豫期ノ效果ヲ收ムルコト能ハサリキ今最近三年間ノ入學志願者ヲ比較スルトキハ次ノ如シ

	大正七年度	大正八年度	大正九年度
	406	325	(追募集ヲ含ム)
	302		

入學者父兄ノ職業別次ノ如シ

		農業	工業	商業	公務及自由業	無職	計
第一部	男	32	—	2	5	1	40
	女	17	1	8	8	6	40
第二部	男	34	—	1	6	3	44
	女	12	1	5	12	7	37
計		95	2	16	31	17	161

卒業者就職 本年度卒業者ハ悉ク本縣小學校教員ニ就職セリ但シ就職後直ニ第一部及第二部卒業男各一名ハ廣島高等師範學校ヘ、第二部卒業男一名ハ東京高等師範學校ヘ入學シタリ 附屬小學校 尋常第五學年以下ノ各年男女合級ニシテ高等第一二學年男及高等第一、二學年女ノ各合級編成ナリ今兒童教養教生指導等ノ狀況ヲ掲ケルハ次ノ如シ

兒童教養 前年來ノ方針ヲ繼續シテ教育ノ全作用ヲ統一的有機的ナラシメ教授ハ自學能力主義ニ依リテ個別取扱ヲ重視

訓練ハ兒童ヲ自覺ノ上ニ立タシメ自律愛他ヲ高潮シ養護方面ニ於テハ衛生思想ヲ涵養シテ節制運動ヲ獎勵シ机腹掛ハ各兒ノ身長ニ適應セルモノヲ考案製作シテ姿勢ヲ害セサルコトニ注意セリ

教生指導 第一學期ハ第一部第四學年女三十八人、第二部女二十一人、第二學期ハ第一部第四學年男三十二人、第三學期ハ第二部男四十人ナシテ少ナキハ三十時間多キハ六十時間平均四十時間内外ノ練習ヲ爲サシメテ指導法トシテハ教育者ヲ養成スルヲ主眼トシテ教育作用全般ニ對スル理解ヲ深クシ高尙ナル趣味ヲ養フコトニ努メ單ニ技術ヲ弄スルコトヲ避ケシメタリ

研究トシテハ訓導ハ一科以上ノ主任教科ヲ專擔シテ該科ノ教授法ヲ研究シタルニアリ本年度中學事獎勵等ノ爲メ行ヒタル事業ノ主ナルモノヲ擧クレンハ講話會ヲ開キタルコト四回、運動會ヲ開キタルコト二回ニシテ又遠足二回、音樂會一回、學藝會十一回、大學藝會一回、臨海教授一回、父兄懇話會一回、學童保護會一回行ヘリ

又公開教授ヲ行ヒタルコト三回即尋常第二學年讀方、尋常第五、六學年女讀方、高等一、二學年男歴史ニ就テ各一回ナリ

尙歴史教授ニ關シ縣下聯合教育研究會ヲ開キタルコト一回指導ノ爲職員ノ出張シタルモノ主事十回、訓導七回ニ及ヘリ

以上要スルニ火災後設備未タ全ク舊ニ復セサルモ事業ト研究トハ略例年ノ如ク進行セシムルコトヲ得タリ

代用附屬小學校 明治四十四年度ヨリ吉田郡團山山村立道明尋常小學校(市北端)ヲ代用附屬小學校ト爲シ年々縣費ヲ以テ補助セリ大正九年度ニ於ケル補助額ハ七百貳拾圓ニシテ其ノ大部分ハ教員俸給ニ充テシメタリ兒童教養等ニ關シテハ附屬小學校ト同一方針ヲ以テセシモ尙校下實際ノ狀況ヲ考慮シ之ニ適應シタル施設ヲ爲シタルコト猶從來ノ如シ

講習科 本年度ニ於テハ講習科ヲ開カス
以上ノ外男女生徒ノ學藝會夏期休暇中ノ研究課題諸種ノ講話會開會等概シ從來ノ如シ

中 學 校

學校ノ設備 中學校ハ縣立四校私立一校ニシテ縣立福井中學校ハ大正八年三月校舍罹災後理化教室寄宿舍等附屬建物十二棟ヲ有スルノミナラス學級總數十八學級ニ増加シタルヲ以テ教授上困難ヲ感スルコト大ナリシカ本年十二月ニ入りテ講堂及普通教室二棟、特別教室一棟、武道場、體操場兼生徒控所一棟、書庫一棟、物置一棟、武器庫一棟ノ新築落成シタルヲ以テ教授上ノ便宜ヲ得タルコト尠ナガラズ、私立北陸中學校ハ大正八年二月罹災後復舊工事竣成ヲ告グス是亦教授上不便ナリシガ本年度ニ於テ功ヲ竣リ且理化實驗室ヲ改造シテ其ノ缺ヲ補ヒタリ又縣立武生中學校ハ校舍ノ改造並學級增加ニ伴フ設備ヲ爲シタル等何レモ其ノ完成ニカメ尙圖書器械標本ノ類モ漸次購入シ教授上著シキ支障ヲ見ス

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ總

テ八十四人ニシテ專任七十九人任兼五人アリ其ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別次ノ如シ

	縣立中學校			私立北陸中學校	合計
	福井	大野	武生	小濱	
東京帝國大學文科大學卒業	2	2	兼1	1	8
東京高等師範學校卒業	兼1	兼1	3	1	兼1
廣島高等師範學校卒業	—	1	1	1	2
京都帝國大學文科大學卒業	—	—	—	1	兼1
第一臨時教員養成所卒業	—	—	—	1	兼1
第二臨時教員養成所卒業	—	—	—	1	兼1
神宮皇學館卒業	—	1	1	—	兼1
第三臨時教員養成所卒業	—	—	1	—	兼1
東京美術學校卒業	—	1	1	—	兼1
東京美術學校及東京外國語學校卒業	1	—	—	—	2
國學院大學卒業	2	1	1	2	6
東京物理學校卒業	2	1	3	1	3
早稲田大學卒業	1	1	—	—	兼1
日本大學卒業	1	—	1	—	兼1
青山學院卒業	1	—	1	—	兼1
日本體育會體操學校卒業	—	1	1	—	兼1
大日本武德會武術專門學校卒業	—	—	—	1	兼1
元陸軍教導團卒業	—	—	—	1	兼1
東洋大學卒業	13	2	3	1	25
其他試驗檢定	兼1	—	—	兼1	兼1
其他ノ無試驗檢定	—	—	—	兼1	兼1
計	兼26	兼13	兼14	兼13	兼79
	兼2	兼1	兼1	兼1	兼5

教員ノ需要供給續待遇 中等教員不足ノ影響ハ各中學校ニ波及シ本年度ニ於テモ轉任辭任相尋テ之ヲ見タルノ狀況ニシテ各校何レモ十餘名ニ上リ而モ其ノ補充容易ナラザリシカ缺員長キニ亘ルコトナキヲ得タルハ幸ナリ斯ノ如クナルヲ以テ勤續十餘年ニ及フ者甚タ尠ナク多クハ五年未滿ヲ以テ更迭スルハ止ムヲ得サルナリ俸給ハ八月中俸給令ノ改正アリ隨テ豫算ヲ増額シ以テ一般ノ増俸ヲ行ヒタルノミナラス十月ヨリ新二年功加俸ノ制行ハレ爾來之ヲ給セラルハ者尠ナカラサルニ至レリ

生徒ノ訓育 各學校トモ學級擔任、監督、風紀生等ヲ置キ指導監督ヲ嚴シ風紀肅肅ヲ圖リ時々ノ訓話、校舍内外ノ灑掃負擔等畧前年ノ如シ

生徒學業ノ進否 各校生徒學業ノ狀況次ノ如シ

	大正八年度				大正九年度			
	生徒總數	落第者	落第割合	平均得點	生徒總數	落第者	落第割合	平均得點
福井中學校	672	65	.97	71	693	56	.81	70
大野中學校	315	27	.86	69	335	30	.90	70
武生中學校	500	64	1.28	69	525	53	1.01	69
小濱中學校	337	18	.53	68	331	29	.88	68
北陸中學校	371	22	.57	73	430	39	.91	71
計	2,195	196	.89	70	2,314	207	.89	70

生徒修學旅行 福井中學校第五學年生ハ京阪地方ニ大野中學校第四、五學年生ハ京阪奈良伊勢地方ニ、第二、三學年生ハ坂井郡三國地方ニ第一學年生ハ福井市ニ武生中學校第五學年生ハ伊勢奈良京阪神地方ニ小濱中學校第五學年生ハ京阪及奈良地方ニ修學旅行ヲ爲シタリ又北陸中學校第五學年生ハ岐阜名

古屋地方ニ赴キ名勝古蹟ヲ巡覽シ各務原ニ到リ航突第二大隊ヲ見學シタリ
 入學志願者 各學校トモ入學志願者漸ク増加ノ傾向ニシテ何レモ募集人員ヲ超過セザルモノナク甚キハ募集人員ノ四倍餘ニ上レルヲ見タリ
 入學者父兄ノ職業別 各校各年別ニ父兄ノ職業別ヲ掲ケレバ次ノ如シ

	農業	鑛業	工業	商業	交通業	公務自由業	其他ノ有業者	無職業	計
福井中學校	72	—	20	19	2	39	3	13	168
一 年 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大野中學校	39	—	6	19	—	21	—	1	86
一 年 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二 年 年	1	—	—	—	—	—	—	—	1
三 年 年	1	—	1	—	—	—	—	—	2
四 年 年	1	—	1	—	—	—	—	—	2
五 年 年	41	—	7	19	—	22	—	2	91
武生中學校	69	—	12	18	—	34	—	2	135
一 年 年	—	—	—	—	—	1	—	1	2
二 年 年	—	—	—	—	—	1	—	—	1
三 年 年	—	—	—	—	—	2	—	—	2
四 年 年	—	—	1	—	—	1	—	—	2
五 年 年	—	—	—	—	—	1	—	—	2
計	69	—	13	18	—	39	—	3	142
小濱中學校	35	—	16	21	2	26	—	2	102
一 年 年	2	—	—	—	—	1	—	—	3
二 年 年	1	—	1	—	—	1	—	—	4
三 年 年	1	—	1	—	—	—	—	—	3
四 年 年	—	—	1	—	—	—	—	—	1
五 年 年	—	—	1	—	—	—	—	—	1
計	39	—	19	21	3	29	—	2	113
北陸中學校	49	1	28	10	2	49	—	3	142
一 年 年	2	—	—	—	—	1	—	—	3
二 年 年	—	—	—	—	—	1	—	—	1
三 年 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	51	1	28	10	2	51	—	3	146
合 計	272	1	87	87	7	180	3	23	660

高等女學校

縣立福井高等女學校

學校ノ設備 本年度ニ於テ一教室ノ増築ヲ見タルモ裁縫其ノ他ノ特別教室ハ依然狹隘ヲ免レス又寄宿舎モ構造不完全ニシテ舎監室ノ改築病室ノ新設等ハ殊ニ其ノ必要ヲ感ス

有資格教員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ專任男九人女十一人兼任男一人ニシテ次ノ如シ

- 東京高等師範學校漢文專修科卒業 1人
- 東京高等師範學校博物科卒業 1人
- 東京美術學校彫刻科卒業 1人
- 千葉高等園藝學校卒業 1人
- 試驗檢定 3人
- 無試驗檢定 2人
- 以上專任 男 9人
- 東京高等師範學校地理歴史部卒業 1人
- 以上兼任 男 1人
- 東京女子高等師範學校國語專修科卒業 1人
- 同 理科第二部卒業 1人
- 同 理科第一部卒業 1人
- 同 文科第二部卒業 1人
- 同 家事第一部卒業 1人

- 東京女子高等師範學校地理歴史專修部卒業 1人
- 私立東京裁縫學校高等師範科卒業 2人
- 日本音樂學校甲種師範科卒業 1人
- 試驗檢定 2人
- 以上專任 女 11人

教員ノ需要供給待遇 本年度中轉退職セル教員八、新ニ就職セルモノハナリシモ後任者補充ノ爲ニハ相當ノ日子ト勞苦ヲ要シタリ俸給ハ時運ニ應シ漸次之ヲ増額シ待遇ヲ厚クシタリ

生徒訓育 生徒ニハ一定ノ制服ヲ着用セシメ作業ヲ課シテ勤勞ノ習慣ヲ養ヒ學友區ヲ定メ相誠マシメ毎朝一齊體操ヲ行ヒ健康ノ増進ヲ圖リ各學級當番委員ヲ設ケテ自治實踐ニ注意シタル等訓育教授略ホ前年ノ如シ

生徒學業ノ進否 出席獎勵ト同時ニ教授上ノ改善並教科書一部ノ變更ヲ行ヒ生徒學業ノ進歩ニ注意シタルハ上級學校ニ入學スル者漸次其ノ數ヲ増スノ狀況ニシテ生徒得點平均ハ八點強ナリ

入學志願者 第一學年二百人ノ募集ニ對シ志願者五百二十七人ノ多キニ達シタリ

入學者父兄ノ職業別 入學者ハ總テ二百人ニシテ其ノ父兄ノ職業別ヲ學ケレハ農業六十二人、工業二十一人、商業五十二人、交通業一人、公務及自由業六十四人ナリ

武生町立高等女學校

學校ノ設備 本校ハ從來實科高等女學校ナリシカ本年度ヨリ組織ヲ變更シテ高等女學校ト爲シタリ設備ハ現今ニ於テハ殆ト完成シ教授管理支障ナシ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ專任男二人女四人兼任男二人ニシテ次ノ如シ

- 東京高等師範學校手工專修科卒業 男 1人
- 神宮皇學館卒業 男 1人
- 共立職業學校高等師範科卒業 女 1人
- 第六臨時教員養成所卒業 女 2人
- 試驗檢定 女 1人
- 東京帝國大學文科大學卒業 兼任男 1人
- 無試驗檢定 兼任男 1人

教員ノ需要供給等 本年度中教員ノ轉退職四人ニシテ補充亦四人ナリ教員ノ待遇ハ他校同様ニ之ヲ厚クシタリ

生徒訓育 貞淑ノ美德ヲ涵養シ學藝ヲ練習シ勤勞ニ堪ヘ實踐躬行ノ方針ヲ以テ訓育ヲ施シタルコト從來ノ如シ

生徒學業ノ進否 學科實科共ニ逐年進歩觀ルヘキモノアリ

入學志願者 募集人員四十九人ニ對シ應募二百十五人ノ多數ニ達シタリ

入學者父兄ノ職業別 入學者四十九人ニシテ父兄ノ職業ハ農業十八人、工業七人、商業十一人、交通業二人、公務自由業十人、無職一人ナリ

大野郡立實科高等女學校

學校ノ設備 校舍校地校具ノ設備略ホ完成セリト雖漸次擴張ノ必要アリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ノ專任
男二人、女三人、兼任男二人、ニシテ次ノ如シ

神宮皇學館卒業	男	1	人
東京女子高等師範學校技藝科第一部卒業	女	1	人
奈良女子高等師範學校博物家事科卒業	女	1	人
東京高等師範學校家事科第一部卒業	女	1	人
福井縣師範學校卒業	男	1	人
同	兼任男	1	人
東京美術學校卒業	同	男	1

教員ノ需要供給等 本年度中教員ノ更迭二人ニシテ其ノ補充容易ナラサルハ他ノ學校ノ如シ

生徒訓育 常ニ質素勤勞ヲ重クスルコトニ注意シ其ノ施設シタル所從來ノ如シ

生徒學業ノ進否 成績概シテ良好ニシテ漸次進歩ノ狀ナリ

選科生 選科ノ科目ハ裁縫ヲ主トシ修身家事作文習字體操唱歌等ヲ修メシム例ニ依リ農繁期ニ於テハ缺席多キヲ免レス

入學志願者 入學志願者ハ實科九十人、選科生三十五人ニシテ、入學者實科七十人、選科生三十五人ナリ

入學者父兄ノ職業別次ノ如シ

	農業	工業	商業	公務自由業	無職業	計
第一學年	27	10	13	2	3	45
第二學年	7	3	3	1	1	15
計	34	13	16	3	4	70
選科生	30	2	3	—	—	35

敦賀町立實科高等女學校

學校ノ設備 本校ハ敦賀町敦賀尋常高等小學校ト同構内ニ設置シアルモ設備殆ト完成シ教授管理支障ナシ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ノ專任男二人、女三人ニシテ次ノ如シ

國學院大學師範部國語漢文科卒業	男	1	人
日本女子大學教育學部家政科第二部卒業	女	1	人
和洋裁縫女學校高等教員養成所卒業	女	1	人
福井縣師範學校卒業	男	1	人
試驗檢定	女	1	人

教員ノ需要供給等 教員需用ニ對スル供給ハ未タ十分ナラサルモ其ノ不足ハ小學校本科正教員ニ教授ヲ囑託シテ之ヲ補充シ居レリ尙教員ハ專ラ優遇ニ勉メ目下加俸ヲ受クル者三人兼任待遇ヲ受クル者男二人、女一人アリ

生徒訓育 學級主任教諭ノ生徒ノ個性ニ應ジテ德性ノ涵養ニ勉メ居レリ

生徒學業ノ進否 成績一般良好ナリ

入學志願者 入學志願者百四人ニシテ入學者六十一人ナリ

入學者父兄ノ職業別 次ノ如シ

	農業	工業	商業	交通業	公務自由業	無職	計
第一學年	9	12	17	9	5	1	53
第二學年	1	1	4	—	1	—	7
第三學年	—	—	—	—	1	—	1
計	10	12	31	9	7	1	61

遠敷郡立小濱實科高等女學校

學校ノ設備 本校ハ從來ノ郡立小濱女子技藝學校ノ組織ヲ變更シタルモノニシテ校地校舍トモ略完備セリ

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ノ專任男一人、女四人、兼任男二人ニシテ次ノ如シ

高等師範學校卒業	專任男	1	人
女子高等師範學校卒業	同	女	3
東京裁縫女學校卒業	同	女	1
高等師範學校卒業	兼任男	1	人
小學校本科正教員	兼任男	1	人

教員ノ需要供給等 本年度ニ於テモ教員二名ノ更迭アリタルカ幸ニシテ直ニ補充スルヲ得タリ待遇ハ漸次厚キヲ加ヘタリ

生徒訓育 質素柔順ノ風ヲ保存スルニ勉ムルト共ニ修養勤勞ノ二要綱ヲ定メ又規律ノ肅整校風ノ統一ヲ圖ル爲校歌ヲ作り服制ヲ定メ清潔規程ヲ設ケ又毎朝全校生徒合同體操ヲ行ヒ一面

每學期數回級會ヲ催シ談話運動遊戲ヲ共ニセシメタリ

生徒學業ノ進否 生徒ノ學業成績等ハ良好ナリ

入學志願者 實科五十人、選科五十人ノ募集ニ對シテ實科九十五人、選科四十四人ノ志願者アリ實科ニ對シテハ選抜試驗ヲ行ヒテ所要人員ノ入學ヲ許可シタリ

入學者父兄ノ職業別 次ノ如シ

	農業	工業	商業	交通業	公務自由業	無職	計
實科	15	9	17	1	4	4	50
選科第一年	20	2	7	5	—	3	37
選科第二年	3	—	3	—	—	1	7

實業學校

縣立福井農林學校

學校ノ設備 前年來工事中ノ農林產製造所、養蠶寄宿舎、實習作業所及蔬菜速成室等ハ本年度ニ於テ落成シ茲ニ構内各建物ハ完成ヲ告クルニ至レリ又大野郡平泉寺村ニ於ケル演習林小屋増築モ亦竣功ヲ見タリ教授用器械標本等ハ必要ニ應ジ多少

購入スト雖物價昂騰ニ因リ十分ノ補充ヲ爲シ難シ

教員ノ資格別 有資格教員ノ專任男十三人、兼任男一人ニシテ次ノ如シ

學士ト稱ズルコトヲ得ル者	專任一人兼任一人
文部大臣ノ指定シタル者	專任十一人

教員ノ需要供給等 本年度ニ於テ轉任四人、退職二人アリ一時物價騰貴ニ隨テ異動者相踵キ補缺頗ル困難ヲ感シタルカ其ノ後教員待遇ヲ厚クシタル爲基シキ異動ナキニ至レリ

生徒訓育 實踐躬行ヲ旨トシ生徒手帳ヲ携帶セシメ且通學生ノ監督、寄宿舎ノ監督、級長副級長舍長退番炊事係等ヲ設ケ及補助機關トシテノ農友會、組會共同販賣部ヲ設置シタル等總テ從前ニ異ナル所ナク以テ勤儉力行農林業者トシテノ適當ナル人物ヲ養成スルコトニ勉メタリ

生徒學業ノ進否 病氣又ハ缺席ノ爲原級ニ止マル者ハ前年ニ比シ其ノ數ヲ増シタリト雖モ一般學業ノ成績ハ進歩セルモノト認ム

生徒實習及修學旅行

實習 學科終了後毎日二時間ノ實習ヲ課スルヲ以テ定例トシ職員卒先シテ生徒ヲ指導誘掖シ生徒モ亦熱心ニ之ニ從事ス修學旅行 六月四日ヨリ十二日迄第四學年生徒六十四名ヲ長野栃木東京静岡愛知三重奈良ノ一府七縣十月五日ヨリ六日間第三學年生徒六十名ヲ大阪奈良三重ノ三縣へ旅行セシメ尙全生徒二百五十九名ハ足羽吉田ノ兩郡ニ於テ二日間發火演習ヲ行セタリ

入學志願者 募集人員百人ニ對シ志願者百二十人ニシテ前年度ニ比シ稍々増加シタルモ未タ著シク超過ノ傾向ヲ認メス 學校ト實業界トノ關係 各地開催ノ農産物品評會等ニハ勉テ職員ヲ派遣シ審査ノ任ニ當リ又ハ農事講話ヲ爲シ或ハ果樹園開設造林等ノ依頼ニ應ジ病蟲害等ノ防除ヲ指導シ或ハ牛馬耕傳習農具標本等ノ貸與作物ノ種苗幼畜種卵雞雛等ノ分與ヲ行ヒ各郡公私團體ノ農事講習講話會等ノ申請ニ應ジ講師ヲ派遣スル等一般農業者ノ利益ヲ圖レリ

縣立小濱水産學校

學校ノ設備 本年度ニ於テハ製造科實習場ニ文部省補助ニ係ル蓋底拔機ヲ設備シ實習及教授上多大ノ便宜ヲ得タリ 教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男七人兼任男一人ニシテ次ノ如シ

學士ト稱スルコトヲ得ル者	專任一人
文部大臣ノ指定シタル者	專任四人兼任一人
文部大臣ノ認可シタル者	專任二人

教員ノ需要供給等 本年度中二名ノ更迭アリタルノミ又教員ノ待遇ハ相當之ヲ厚カラシメタリ

生徒訓育 學校長時々ノ訓話、學級主任並級長ノ設ケ寄宿舎ノ監督、卒業生トノ聯絡等從前ニ異ナラサルカ尙本年度ニ於テハ看護當番ヲ置キ各級二名ツ、輪番ヲ以テ校外ニ於ケル生徒ノ風紀取締其ノ他ノ出來事ニ注意シ日誌ニ記入セシメタリ 生徒學業ノ進否 生徒ニハ可及的自修自學ノ風ヲ獎勵シ時々課題ヲ與ヘテ考究セシメテ之カ回答ヲ徵シ或ハ實地ニ就キテ調査研究セシメテ其ノ報告ヲ徵スルニ成績觀ルヘキモノアリ

生徒實習及修學旅行 生徒實習 漁撈科生徒ニハ若越及丹後近海ニ於テ漁業及運用航海ノ練習ヲ爲サシメ更ニ本年度ニ於テハ六月十七日ヨリ八月二十七日ニ至ル間實習船雲龍丸ヲ以テ津輕海峽ヲ經テ太平洋方面ニ回航シ日本海方面及太平洋方面ニ於ケル漁況漁具漁業經營等ニ就キ視察調査セシメ且運用全海ノ練習ヲ爲サシメタリ今其ノ調査視察シタル箇所ヲ掲ケレハ左ノ如シ

新潟縣寺泊 信濃川分水工事 函館東洋製罐會社、船渠會社、輸出食品會社、函館商業會議所、北海道水産物取引狀況調査、青森縣水産講習所、東洋捕鯨會社、岩手縣水産學校、宮城縣水産學校、千葉縣箱山日本漁業會社工場、東海捕鯨解剖所、農商務省水産講習所、石川島造船所、月島製網所 製造養殖科ニ於テハ罐詰、調味、塩乾及養殖ニ關スル實習ヲ爲サシメ又十月四日ヨリ十一日間滋賀、京都、大阪、奈良、三

重、愛知ノ各府縣へ實習旅行ヲ爲サシメタリ 修學旅行 前項ノ外第一、二學年ハ五月六日ヨリ三日間實習船雲龍丸ヲ以テ宮津舞鶴方面ニ廻航シ京都府水産講習所天ノ橋立、海兵團、軍港、工廠等ニ就キテ實地見學ヲ爲シタリ又十月二十三日全校生徒若狹富士ト稱セラル、青葉山ニ登山シ歸路高濱町ニ一泊シタリ

入學志願者 強テ入學ヲ勸誘セサリシモ志願者六十四人ヲ得其ノ内四十五人ノ入學ヲ許シタリ

學校ト實業界トノ關係 各地漁業組合、漁村青年會等ヨリ水産ニ關スル講話講習等ノ要求アリタルトキハ教員ヲ派遣シ或ハ實地指導ヲ爲シ各地方適切ナル漁撈製造養殖ノ法ヲ授ケ或ハ當業者ニシテ改良漁具改良漁船等ノ設計ヲ希望スル者アルトキハ直接當業者ヲ誘接スル等當業者トノ關係ヲ密接ナラシムルニ勉メタリ

縣立工業學校

學校ノ設備 校地校舍トモ從來ノ如クニテ稍々整備スト雖尙設備ヲ要スルモノ多ナカラス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男七人、兼任男二人ニシテ皆文部大臣ノ指定シタル資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 教員ハ前年報告後異動ナシ又其ノ俸給最高年千七百圓最低月七拾貳圓ニシテ加俸ヲ給セラル、者過半數ナリ

生徒訓育 學級主任ヲ定メ生徒通知簿ヲ設ケ級長副級長ヲ置キ又家庭トノ連絡ヲ圖リ其ノ他工友會ヲ組織シ講演會運動會ヲ開催スル等訓育ニ注意セルコト前年ニ同シ

生徒學業ノ進否 本學年ニ於テ第四回卒業生十九人、豫科四十二人ヲ出シ學年進級本科六十人、豫科四十一人ニシテ原級ニ止リタル者本科三人、豫科八人ニ及ヒタルモ學業成績敢テ前年ニ劣ラス

生徒實習及修學旅行

生徒實習 各學年ヲ二組ニ分チ半學期更代ヲ以テ染色機織ノ實習ヲ爲サシメタルコト前年ニ異ナラス

修學旅行 第三學年ハ十月二日ヨリ八日間群馬栃木東京愛知方面ニ第二學年ハ十月六日ヨリ四日間京都大阪奈良方面ニ第一學年ハ十月八日ヨリ二日間金澤高岡富山方面ニ豫科全生徒ハ十月九日若州小濱ニ修學旅行ヲ爲シタリ

入學志願者 募集人員四十人ニ對シ百九十六人ノ入學志願者アリ其ノ内四十六人ノ入學ヲ許シタリ

學校ト實業界トノ關係 染織工業實地指導ノ爲職員ヲ派遣シ又ハ講習會ヲ開キ若ハ生徒實習ノ狀況及其ノ製品ノ縱覽ヲ一般ノモトニ許シ其ノ他質疑應答ヲ爲ス等學業獎勵ト産業ノ開發等ニ意ヲ注クコトヲ怠ラス又染織工業ニ從事スル職工徒弟等晝間修學ノ餘暇ナキモノノ爲ニ春秋二回毎回三箇月ノ期間ヲ以テ夜間講習ヲ開キタリ其ノ修了者等次ノ如シ

		春季		秋季		計	
		講習生	修了者	講習生	修了者	講習生	修了者
機織	染色	44	16	21	13	65	29
		25	11	11	6	36	17
		69	27	32	19	101	46

縣立敦賀商業學校

學校ノ設備 本校ハ有名ナル松原公園ノ一隅ニ在リ白砂青松ノ風致ハ勿論衛生上ニ於テモ可ナレトモ其ノ建物ハ町立時代ノモノ多ク前年講堂及二階建ノ教室ヲ新築シタリト雖未タ舊來ノ面目ヲ改ムルニ至ラス將來内外共ニ改良ヲ要スルモノ尠ナカラス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男九人、兼任男一人ニシテ專任男一人文部大臣ノ認可シタル者ヲ除クノ外皆文部大臣ノ指定シタル者ナリ

教員ノ需要供給等 年度内有資格教員三人ヲ増加シタルモ前年來缺員ノ英語、商業等ノ有資格者ヲ補充スルヲ得サルハ遺憾ナリ且多年勤續ノ者少ナク俸給ハ概ネ之ヲ増加シ又年功加俸ヲ受クル者四人アリ

生徒訓育 學業ノ研鑽ト體力ノ増進ニ注意シ德育ニ關シテハ校長及教員實踐以テ之ヲ率ヒ又級會ヲ開催シ生徒ノ意思所見ヲ披瀝セシムル等訓育ニカメタルコト殆ト前年ノ如シ

生徒學業ノ進否 本年度ニ於ケル生徒得點總平均七十五點九分ニシテ前年度ノ七十六點二分ニ比シ三分ヲ減シタルハ甚遺憾ナルカ畢竟スルニ第二學期ニ於テ教員排斥ヲ目的トセル同盟缺席アリタルニ基因スルモノナルヘシ尙本校ニテハ其ノ特色トスル露語ニ併セテ英語ヲモ教授スルカ故ニ生徒ノ負擔輕カラサルモノノ如シ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 最上級生ニハ内外商業實踐ヲ課シ同時同業法ニ依ラシム而シテ商家ノ子弟ニハ勉テ家業自習ヲ爲サシムルモ當地ニハ稅關支署、小船會社ノ外實習ニ利用シ得ル商社工場ナキハ遺憾ナリ

修學旅行 本科第四學年露語部及日露貿易專修科生ヲシテ夏期休業中二週間ヲ期トシ西比利亞地方ニ旅行セシメ旅費ノ一部ヲ補給シタリ本科第四學年英語部及第三學年並第四學年露語部ノ一部ハ長崎地方ニ旅費自辨ヲ以テ旅行セシメタリ

又本科第二學年生ヲ三重奈良地方本科第一學年生ヲ金澤地方ニ旅行セシメタリ

入學志願者 本科露語部及日露貿易專修科ハ其ノ存在ト實質ノ如何ニ就テ未タ世ノ周知ヲ得ルニ至ラス隨テ入學志望者ノ如キモ英語部ニ比シ遙ニ少ナク且其ノ入學者ノ素質ニ於テモ亦著シク劣レルノ憾アルノミナラス殊ニ貿易專修科ノ如キハ徵兵猶豫ノ特典ナク又卒業後何等格別ノ光榮ヲ有セサルノ不利アリ且露國ノ政變ハ彼國經濟界ノ破綻トナリ對露貿易ノ近狀悲慘ノ極ニ達スルヲ以テ入學志願者逡巡スルノ傾アルハ實ニ止ムヲ得サル所ナリ

學校ト實業界トノ關係 本校職員ハ常ニ實業者ト接觸シ密接ナル連絡ヲ保ツニ留意シ各種實業團體ニ參加シテ意見ヲ開陳シ又實業者ハ學校ニ來リ所見ヲ披瀝スル者漸ク多ク尙西比利亞方面ニ往來スル名士實業家ニシテ當地ヲ通過スルモノニ依リシテ講演ヲ爲スコト數クナリ

市立福井商業學校

學校ノ設備 校地校舍及圖書器械標本等殆ト完成シ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男十三人、兼任男一人ニシテ皆文部大臣ノ指定シタル者ナリ

教員ノ需要供給等 本年度ニ於テ退職並他ノ轉任ノ者三人、他ヨリ轉任シ來リタル者四人ニシテ補充上甚シキ困難ヲ感セサリキ俸給平均額ハ校長百七十五圓、教諭九十一圓六錢ナリ

生徒訓育 商業家トシテ必要ナル道德ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スル目的ヲ以テ生徒監、學級主任ヲ置キ又學校ト家庭トノ連絡方法トシテ家庭訪問、保證人招喚、父兄談話會ノ開催、通告簿ノ設備、生徒心得ノ携帶等前年ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 生徒學業ノ成績ハ一般ニ前年度ニ比シ進歩ノ傾向アリ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 內國商業ニ於テハ同時同業法ニ依リ獨立シテ商業ニ從事セントスルモノノ一般ニ注意スヘキ事項ヲ殆トシ書類手形等ノ取扱ヨリ帳簿通信書類等ノ整理ニ至ル迄詳細ナル手續ヲ教授シ外國貿易ニ於テハ往復文書電報其ノ他各種ノ書式ヲ作成セシメ以テ英文ノ研究ヲ爲サシムルト共ニ英米ニ於ケル商習慣ノ大要ヲ知ラシムルコトニ勉メタリ

修學旅行 本科第三學年生ハ長野、東京、橫濱、江ノ島、静岡地方ニ第一、二學年生ハ京阪神地方ニ修學旅行ヲ爲シタリ

入學志願者 生徒百八人ノ募集ニ對シ入學志願者六百十六人ノ多キニ達シタリ其ノ多クハ福井市在住ノ者ニシテ坂井、足羽、吉田、南條、丹生、今立、大野等ニ亞ケリ

學校ト實業界トノ關係 卒業者ハ何レモ實業界ニ出テ、成績良好ナルヲ以テ一般商業教育ノ必要ヲ認ムルノ狀況ナリ

坂井郡立農學校

學校ノ設備 校地校舍等前年ニ異ナラス又圖書器械標本等モ漸次購入スルヲ以テ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男四人、兼任男一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 現今相當ノ資格者ヲ得テ且俸給モ幾分ヲ増加シ又年功加俸ヲモ支給シタリ

生徒訓育 前年ニ引續キ一層訓育ニ注意シ家庭ノ狀況地方ノ風俗習慣等ヲ調査シ及生徒心得ノ實踐ヲ獎勵スル事ニ勉メタリ

生徒學業ノ進否 小時間利用ヲ獎勵シ實際問題ノ調査研究ヲ爲サシメ學業ノ進歩ヲ圖リタルニ其ノ成績佳大ナルヲ認ム

生徒實習及修學旅行

生徒實習 每週六時間以上ノ實習ヲ課シ家庭ニ於テハ夫々相當ノ手傳ヲ爲サシム或ハ種子ヲ與ヘテ家庭ニ於テ栽培セシメ其ノ生産物ヲ學校ニ於ケル品評會ニ出品セシメ品評會ニ於テハ品評方法ヲ傳習ス

修學旅行 第一、二學年生全部ヲ二月二十八日ヨリ五日間大阪、三重、愛知ノ一府二縣ヘ旅行セシメタリ

入學志願者 一總テ三十三人ニシテ其ノ内二十六人ノ入學ヲ許シタリ

學校ト實業界トノ關係 農事ノ改良發達ニ於テ學校ト實業界トノ關係ヲ密接ナラシムルノ方法ヲ取ルハ必要ノ事ナルヲ以テ時トシテハ講習講話農事ノ指導ヲ行ヒ又參觀及相互視察、土地調査等ヲ爲シ或ハ種子交換等ハ種子分與等ヲ行ヒタリ

今立郡立農學校

學校ノ設備 本年度ニ於テハ養蠶室作業室農具室等ノ修繕ヲ爲シタルノ外著シキ施設ナク又器具器械標本圖書ノ類ハ多少之ヲ補充シ教授管理支障ナシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男三人、兼任男一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 教員ノ異動比較的多ク一時補充困難ヲ感シタリ待遇ハ漸次之ヲ厚クシタリ

生徒訓育 勤勉實業労働ニ堪ヘ堅實ナル農村ノ維持者トシテ必要ナル性格ヲ養成スルヲ以テ目的トシ講習訓話校友會講演服裝携帶品ノ検査言語動作ニ關スル注意ヲ爲シ或ハ家庭ヲ訪問シテ生活ノ状態等ヲ觀察シ或ハ學級主任ヲ置キテ監督ヲ行フ等殆ト從來ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 實物實際ニ研究ヲ遂ケシメノコトヲ期シ且實習ノ爲學科ヲ缺クトキ又ハ實習ヲ課シ難キトキハ學科ヲ以テ之ニ代フルニヨリ學業ハ豫定ノ通進歩スルヲ得タリ

生徒實習及修學旅行

生徒實習 第三學年ニハ水稻ノ競争栽培ヲ課シ又蔬菜園ノ實習ハ擔當區ヲ設ケテ栽培セシメ養蠶ハ第三學年ニ春蠶蠟量四匁、第二學年ニ秋蠶蠟量五匁ヲ擔當飼育セシメタリ又夏季休業中ハ生徒全部ヲシテ秣草ヲ刈取ラシムルコトヲ課シ第二學年ニハ養蠶、第一學年第三學年ニハ水田蔬菜園ノ各實習ヲ交代テ以テ爲サシメタリ

修學旅行 第三學年ハ九月二十二日ヨリ四日間京都、奈良、名古屋方面ニ修學旅行ヲ爲シ他學年ハ或ハ福井市ニ或ハ縣下丹生郡四箇浦海岸ニ旅行シタリ

入學志願者 一時商工業ノ好景氣ニ由リ志願者大ニ減少セシモ經濟界ノ不振ヲ來シタルト當路者ノ勸誘ニ依リ豫定ノ志願者ヲ得タリ

學校ト實業界トノ關係 本校ハ地方農業ト至大ノ關係アルヲ以テ各村農事講話會講習會講師トシテ職員ヲ派シ或ハ農業品評會ノ審査長審査員トナリテ當業者トノ連絡ヲ保チ又小學校トシテ連絡方法トシテ農業教育研究會ヲ組織シ毎月一回會合研究シ或ハ臨時農事視察ヲ行フ等農業教育ノ實績ヲ擧グルニ力メタリ

遠敷郡立農林學校

學校ノ設備 本校ハ本年度ノ新設ニ係リ設備十分ナラサルモ漸次之ヲ完成セシメントス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人、兼任男二人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 創立ノ際ナルヲ以テ任用以來異動ナシ

生徒訓育 智能教授ニ偏セス誠實勤儉規律公德自治ノ五目ヲ以テ訓育ヲ施シタリ

生徒學業ノ進否 成績良好ナリ

生徒實習及修學旅行 學科ノ應用ト作業ノ練習トヲ爲サシメ經營上ノ實務ヲ授ケ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ養成スルコトニ勉メ修學旅行トシテハ春秋二回一日間又ハ二日間ヲ以テ實施シタリ入學志願者 本校ハ創立ノ際ナルヲ以テ入學志願者ハ募集人員ニ達スルニ至ラス

學校ト實業界トノ關係 新設當時ナルニヨリ未ダ密接ノ關係ヲ有スルニ至ラス

坂井郡立女子實業學校

學校ノ設備 本校ハ明治四十二年ノ新設ニ係リ生徒數漸次増加スルヲ以テ雨天體操場一棟ヲ新築スルコト、爲シタリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男二人、女五人、兼任男一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

教員ノ需要供給等 教員ノ待遇ハ漸次之ヲ厚クシ本年度ニ於テ女一人ヲ新任シタル外皆前年ヨリノ勤續者ナリ

生徒訓育 本校ハ中流家庭ノ主婦タルヘキモノヲ養成スルノ目的ヲ以テ教育シ労働ヲ厭ハス雜務ヲ嫌ハス清潔整頓ニ注意シ節約利用ヲ圖ルノ習慣ヲ養フニ勉メ隨時講堂訓話ニ際シテ之ヲ訓授スルハ勿論實習ニハ教師自ラ労働ニ服シ範ヲ示スニ至レリ

生徒學業ノ進否 學科實科共ニ漸次進歩セリ

生徒實習及修學旅行

教室内ニ於テハ裁縫手藝ノ實習ヲ行フハ勿論ニシテ桑園蔬菜園ニ於ケル農事養蠶室ニ於ケル飼育炊事場ニ於ケル割烹ノ三種ニ就テ實習ヲ爲サシメタリ修學旅行トシテハ近郊又ハ縣内ニ出テタルニ過キス

學校ト家庭トノ連絡 毎年一回保護者懇談會ヲ催シ保護者ニ對シ學校ノ教育方針ヲ説明シ保護者ノ意見ヲ聽取スルヲ例トス又春秋二回同窓會ヲ開キテ家庭トノ連絡ヲ圖レリ

實業補習學校

實業補習學校ハ工業二、農業百五十四(外ニ分教場八)、水産七、商業二、其他三十八(商船ナシ)ニシテ前年ニ比シ農業八、水産三ヲ増シ其他八ヲ減シタリ又分教場二ヲ減シタリ

補習學校ハ毎年記述セル如ク小學校若ハ其ノ他ノ學校ニ附設スルモノナルヲ以テ何レモ小學校又ハ其ノ他ノ學校舍器具等ヲ使用スルモノ多ク稀ニ寺院又ハ大字共有ノ建物ヲ使用スルモノアルノミ故ニ概シテ設備缺クル所ナク教員亦殆ト小學校教員ノ兼任ナリ教授時季ハ農閑ヲ利用シ若ハ夜間ニ於テスルモノ多シ實習ハ生徒各自家庭ニ於テ其ノ業ニ従事スルヲ以テ學校ニ於テ之ヲ課スルノ必要ヲ認メサルモ尙青年會等ノ事業タル蔬菜園果樹園及水田等ヲ共同試作スルモノアリ或ハ郡農會技手及郡技手ヲシテ學校ヲ巡回シ養蠶畜産林業其ノ他ノ農事指導ヲ爲サシメタルモアリ近來國縣郡等ヨリノ補助金ヲ給セラル、ニ至リ稍其ノ面目ヲ改ムルニ至レリ

各種學校

小學校ニ類スルモノ 市立一町村立四ニシテ前年ニ比シ町村立一ヲ減シタリ是等ノ各種學校ノ多ク市町村立小學校内ニ設置セラレ教員亦小學校教員ノ兼務スル者多數ナレバ教授管理支障ヲ見ス學科ハ概シテ裁縫家事修身國語等ナリ

高等女學校ニ類スルモノ 私立一アリ仁愛女學校ト稱シ明治三十一年四月ノ創立ニ係リ修業年限四年ノ本科、同一年ノ補習科ヲ置キ本科ニハ尋常小學校卒業程度ノモノヲ入學セシム相當ノ教室及附屬建物ヲ有シ設備殆ト完成セルモ運動場狹隘ナルヲ遺憾トス學科ハ修身地理日本歴史算術國圖等何レモ高等女學校用教科書ヲ用ウ相當ノ教師ヲシテ教授セシメ裁縫家事ハ其ノ技能アル教師ヲ選ビ又手藝茶儀生花ハ隨意科トシテ課ス教授時數等殆ト高等女學校ニ準シ修身及裁縫ニ一層重キヲ置ケリ學校維持ニハ寄附金授業料及縣市等ヨリノ獎勵交附金ニ依レリ

其ノ他ノ各種學校 私立ニアリ次ノ如シ

私立北陸專修學院 本院ハ私立北陸中學校内ニ設ケラレ同校生徒中志望者ニ限リ佛敎ヲ授クル所ニシテ教場其ノ他中學校ヲ使用スルヲ以テ何等ノ支障ヲ見ス而シテ宗乘科ハ聖典ノ原文ヲ用井素讀通解ヲ授ケ餘乘科ハ佛敎ノ要旨、三國佛敎史各宗綱要ヲ修得セシム各科時々答案又ハ教場使用ノ筆記帳等ヲ提出セシメ應用力理解力ノ増進ニ勉メ第四、五兩學年ヲ福井市内寺院ニ就テ法式及布敎ノ實習ヲ爲サシム

私立福井英語學校 本校ハ米國宣敎團ノ設立スル所ニシテ校舍ハ福井市内福井聖三一敎會堂ヲ以テ之ニ充テ基督敎理ニ基ケル倫理ヲ講シ英語ヲ授ケ學校維持方法ハ日本聖公會傳道局補助金及授業料ニ依レリ

學校衛生

清潔法施行 各學校ニ於テハ日常掃除ヲ行ヒ毎季若ハ春秋二回ノ大掃除ヲ爲スコト從來ニ異ナラス傳染病流行期ニハ一層之ヲ嚴重ニ爲シ消毒方法ヲモ行ヘリ

學校醫視察 師範學校中學校高等女學校甲乙種實業學校ニ在リテハ年數回學校醫ノ視察アリ或ハ衛生講話ヲ爲スコトアルモ小學校ニ在リテハ一年一回兒童身體檢査ヲ行フニ止マルモノ多シ然レトモ本縣學校衛生主事ハ時々學校ヲ視察シ指導ヲ爲シタルコト前年ノ如シ

學校醫ノ資格別 學校醫ハ總テ百五十三人アリ其ノ資格別ヲ擧ケルハ次ノ如シ

帝國大學醫科大學卒業	9人
東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科卒業	4人
官立醫學專門學校醫學部元高等學校及中等學校醫學部醫學科卒業	85人
府縣立醫學學校卒業	10人
醫術開業試驗及第	45人

生徒兒童ノ健康 一般生徒兒童ノ健康狀態ハ良好ナリ
傳染病豫防及消毒 傳染病豫防ニ就テハ常ニ注意ヲ怠ラストラホーム患者ニ對シテハ點眼及治療ヲ爲サシメ撲滅ニ力メタリ

學校園學林及樹栽

師範學校學校園ハ明治四十二年東宮殿下行啓記念トシテ設ケタル有終園及濟美園ニハ果樹及花卉ヲ栽培シ發育良好ナリ學林ノ管理ハ職員及生徒ヲシテ之ヲ爲サシメ生育ニ努メタリ福井中學校ハ財團法人福井中學校學林會ヲ組織シ植林經營ヲ爲スコト從來ノ如シ大野武生小濱北陸ノ各中學校及高等女學校實業學校モ皆相當ノ學校園又ハ學林ヲ有セサルナク何レモ除草栽培等ノ教員生徒ニ於テ之ヲ爲スコト從來ニ異ナラス

其ノ他ノ小學校ニ在リテモ學校園ヲ設ケルモノ多ク殊ニ山間部ニ於ケル學校ハ學林ヲ設置シ或ハ學校基本財産蓄積ノ目的ヲ以テ植樹ヲ行フモノアリ

教員檢定及免許狀授與

小學校教員無試驗檢定ノ隨時之ヲ施行シ試驗檢定ハ定期八月中福井市及坂井郡三國町、大野郡大野町、遠敷郡小濱町ノ四箇所ニ於テ之ヲ行ヒタリ又郡ニ於ケル尋常小學校准教員養成所修了者ニ對シテハ臨時試驗檢定ヲ行ヘリ本年度檢定總人員ハ男百八十八人、女百六十五人、合格者男七十六人、女九十五人ニシテ師範學校卒業ニ依ル者ヲ併セ男百四十五人、女百四十五人ニ教員免許狀ヲ授與シタリ

教員講習

郡ニ於テハ教育會ノ事業トシテ小學校教員講習會ヲ開キタルモノ多シ講習日數ハ二日間乃至七日間ニシテ算術理科體操教育學人生學農業裁縫家事歴史等ニ關スル件ヲ講習セリ講習員ハ二百人乃至四百五十人ニ及ヒタリ尚講習ノ爲ヘ郡又ハ東京ニ於ケル講習會ヘ教員ヲ派遣シタル郡アリ

教科用圖書

中等教育教科用圖書ハ何レモ適當ナリ又小學校教科用圖書ハ從前ノ如ク多少ノ遲滞ヲ免レサル狀況ナリ

圖書館

圖書館ハ市立郡立村立各一、私立十七アリ前年ニ比シ増減無シハ市立福井圖書館ハ明治四十一年ノ創立ニ係リ職員三人ヲ置キ專ラ圖書ノ整理閱覽等ノ庶務ニ從事シ諸般ノ設備整頓セリ本年度開館日數二百九十四日ニシテ閱覽人員一萬七千二百二十一人ニ上レリ今其ノ圖書ヲ種別スルハ次ノ如シ

	閱覽圖書	閱覽人員		閱覽圖書	閱覽人員
宗教哲學	619	929	辭書	61	134
法政經濟	93	857	語學	4	6
文學	1,122	5,778	雜書	1,987	3,294
史學	712	1,173	實業	144	268
地理	260	348	其他	207	3,653
美術	10	11	計	5,602	17,221
理科學	383	770			

又閱覽人員ヲ職業別ニスルハ次ノ如シ

學生	6,796	商業	607	會社員	168
農業	247	工業	41	官吏	123

巡査	5	公吏	35	醫師	13
新聞雜誌記者	7	教員	107	軍人	11
藥劑師	15	看守	4	鐵道驛員	3
郵便局員	7	遊藝人	1	牧師	15
俳優	1	無職	1,300	其他有業者	7,711
僧侶	4	計	17,221		

郡立三方圖書館ニ在リテハ前年ト大差ナク甲乙各七箇ノ書庫ヲ設ケ巡回文庫ノ方法ヲ以テ甲ハ各村小學校一箇所ツ、ヲ選定シテ据置期間ヲ定メ一般ノ縦覧ニ便ナラシメ乙ハ各村理髮所一箇所ツ、ヲ指定シ一般小時間ヲ利用シテ閱覽スヘキ通俗簡易ノ圖書ヲ收納シテ遞送ス

私立小濱圖書館ハ小濱町教育會ノ施設スル所ニシテ小濱尋常高等小學校内ニ置カル本館及巡回ノ二方法ニ依リ閱覽セシム本館ニ於ケル閱覽人ノ概ネ小學校教員兒童其ノ他地方青年ノ輩ニシテ巡回文庫ハ床屋湯屋旅館等十數箇所ヲ巡回セシメ専用ヲ旨トシテ閱覽セシメタルモ閱覽ノ人員細別圖書ノ種類別等ハ調査シタルモノナシ

其ノ他ノ圖書館ニ至リテハ規模小ニシテ記述スルニ足ラス

小學校教員養成

本年度ニ於テ尋常小學校准教員養成所ヲ開キタルモノ坂井太野ノ二郡ニシテ尋常小學校女子正教員養成所ヲ開キタルモノ坂井郡一郡ナリ

教育會

各郡市ニ私立各郡市教育會ヲ設ケ其ノ數十二アリ會員一萬餘人ニ上リ私立福井縣教育會ハ郡市教育會ノ聯合組織ニシテ別ニ會員ヲ有セス又市ニハ學區毎ニ教育會ヲ組織シ町村ニ於テモ町村教育會ヲ設ケルモノ多シ會員數萬人ヲ算スヘシ此等教育會ノ事業トシテハ教育ニ關スル研究調査、小學校教員ノ講習、教育學術ニ關スル講話、學齡兒童ノ保護、就學ノ獎勵、學事視察、圖書館通俗博物館ノ經營、機關雜誌ノ發刊ヲ爲ス等教育上裨益スル所多シカラズ殊ニ福井縣教育會ハ大正二年以來訓盲學舍ヲ設ケ盲人教育ヲ施シ居レリ

又運動趣味ヲ普及シ體育尊重ノ精神ヲ振興セシメ體力ヲ増進セシムルノ目的ヲ以テ若越大會ヲ開キタリ其ノ陸上部ハ十月二十四日福井市公開運動場ニ於テ之ヲ催シ競技者二千百名ニ上リタリ水上部ハ都合ニ依リ之ヲ開カサリキ

又縣教育會ハ五月中小學校教員五名ヲ臺灣ニ派シ學事視察ヲ爲サシメタリ

青年團及處女會

青年團ハ縣下各市町村ニ於テ組織セラレ其ノ一市町村内數部ニ分ケタルモノハ之ヲ一市町村ニ統一シ更ニ各町村青年團體ヲ聯合シテ郡青年團體ヲ組織ス町村青年團數百八十六、郡市青年團數十二アリ團員ノ數二萬六千五百六十餘名ニ上レルカ本年度ヨリ構成方法ヲ改メ年齡二十五歲迄ニ延長シ團長ハ團員中ヨリ推舉スルコトトシ自主自立ニ經營シ或ハ巡回文庫ヲ設ケ或ハ補習教育或ハ幹部養成講習會講演會月次會ノ開催ヲ以テ各自ノ修

養ニ力メ團體訓練トシテハ見學旅行、道路掃除修繕、公德箱ノ設置、揭示板教育、植林ノ手入、共同試作等ヲ實行シ又體育會ヲ組織シテ體格ノ發達ヲ圖レリ其ノ他申合規約トシテ時間ノ勵行、集會ノ出席及質素儉約等風紀ノ改善ヲ勵行セリ
處女會モ青年團ノ如ク各市町村ニ於テ組織セラレ總テ百六十六團體アリ其ノ團員一萬九千四百餘名ニ達ス亦之ヲ聯合シテ郡處女會ヲ組織シタルモノ四團體ナリ處女會ノ事業トシテハ補習教育講習會講話會體育會、見學旅行、敬老會等ノ實行ナリ

縣會郡會及市町村會

縣會郡會及市町村會何レモ教育費等學事ニ關スル議事ニ就テハ不當ノ決議ヲ爲スコトナク概シテ平穩ナリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ視學官(教育課長)一人縣視學二人屬二人雇二人學校衛生主事一人同雇一人社會教育主事一人アリ
郡役所ニ在リテハ郡視學一人教育事務ノ課長ヲ兼ね其ノ課員ハ郡書記又ハ雇ノ内一人若ハ二人ヲ置キ市役所ニハ市書記一人市書記補一人町村役場ニハ書記一人若ハ二人ヲ置キ事務ヲ處理ス尙市町村ニ於テハ區長及學務委員ヲシテ事務ヲ補助セシムルコト從來ニ異ナラス

學事統計事務ハ一般統計事務擔任ノ屬ヲシテ分掌セシムルコト凡二十年ニシテ郡役所ニ在リテモ近來一般統計事務擔任者ヲシテ處理セシムルモノ漸ク多キヲ加フルニ至レリ

內務部長及視學官ハ多クハ他ノ用務ノ傍ラ學校ヲ巡視シ又ハ郡市教育會等ニ聽席シテ教育ノ發達指導ニ勉ムル所アリ縣視學ハ縣内小學校等ヲ巡回スルコト延日數百二十八日ニ及リ其ノ他通俗講話會等ニ出席シタルコト數回ナリ

學校衛生主事ハ時々各學校ヲ視察シ衛生ニ關スル注意ヲ爲シ又職員生徒兒童等ノ身體檢查ヲ行ヒタリ其ノ出張回數二十五回延日數九十二日ナリ

社會教育主事ハ青年會處女會通俗講話會體育會等ニ出席シタルコト百六十三回ナリ

學事獎勵

中等教育諸學校及縣教育會等ニハ本縣ヨリ補助金ヲ交附シ小學校教員住宅建設ニ對シテモ相當補助金ヲ與ヘ又實業補習教育ニ對シテハ相當ノ條件ヲ具備スルモノニ補助金ヲ交附シテ獎勵セリ師範學校中學校高等女學校實業學校小學校等ニ於テハ其ノ生徒兒童中學術優等品行方正及精勤ノ者ニハ賞與ヲ行ヒ又ハ製作生産品ノ品評會展覽會ヲ開キ或ハ貧困兒童ニ金品ヲ支給シタリ其ノ他青年會處女會ニモ郡市町村ヨリ相當ノ補助ヲ爲シ通俗教育社會教育ノ發達ヲモ圖リタリ

社會教育

郡市町村教育會、青年會、處女會及報德會、斯民會等ノ設置漸ク増加シ實績觀ルヘキモノアルニ至リ其ノ他圖書館巡回文庫公開運動場等ノ設置モ亦増加スルヲ見タリ
教育會、青年團、處女會、圖書館等ハ各別項ニ掲ケタル如クナル

カ尙圖書館令ニ依ラサル圖書閱覽所巡回文庫等ニシテ小學校ニ附設スルモノ五十有餘ニ達シタリ又公衆體育ヲ獎勵シタル結果町村體育會郡市體育會等ヲ組織の系統的ニ開催シテ體育ノ普及發達ヲ見ルニ至レリ

將來學事施設上須要ノ件

將來學事ニ關シ施設ヲ要スルモノ諺ナカラサルカ中ニ就テ最須要ト認ムヘキモノハ前年掲ケタルカ如ク次ノ諸項ナリトス

- 1 高等小學校ノ増設ヲ獎勵スルコト
- 1 農業及理科等ノ學習ニ關スル設備完成ノコト
- 1 體育ヲ徹底セシムルコト

公學費

大正九年度本縣及郡市町村公學費ノ梗概ヲ叙述スレハ次ノ如シ縣公學費總額ハ百貳拾壹萬八千四百六拾五圓ニシテ經常費五拾參萬貳千五百參圓臨時費六拾八萬參千九百六拾貳圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費拾參萬九千四百拾參圓臨時費四拾四萬七千八百八拾九圓ヲ増シタリ是レ職員ノ待遇ヲ厚クシ初メ臨時手當ヲ支給シ後俸給額ヲ増加シ又年功加俸ヲ支給シタルト師範學校中學校ノ災害復舊ノ爲多額ノ新築費ヲ要シタルト且一般物價騰貴ニ基因スルモノナリ

縣公學ニ屬スル收入總額ハ拾四萬九千參百七拾圓ニシテ經常收入拾萬六千七百拾八圓臨時收入貳拾萬四千八百圓、基本財産其ノ他ノ收入壹萬五千五拾貳圓ニシテ之ヲ前年ニ比スルニ經常參萬六千七百六拾四圓臨時貳拾萬壹百圓ヲ増シ基本財産其ノ他四千九百五拾五圓ヲ減シ結局總額ニ於テ貳拾參萬千九百九圓ヲ増シタリ斯クノ如ク巨額ヲ増シタルハ授業料ノ收入多カリシト師範學校及高等工業學校建築費中へ福井市其ノ他ヨリ多額ノ寄附アリタルニ由レリ

郡公學費總額ハ拾壹萬六千八百拾參圓ニシテ經常費七萬六千參拾壹圓臨時費四萬六千八百八拾貳圓ナリ之ヲ前年ニ比スルトキハ經常壹萬六千參百七拾七圓臨時貳萬八千貳百貳拾九圓ヲ増シタリ是レ乙種程度實業學校一校ノ新設アリタルト職員俸給雜給等ノ増加シタルヲ主因トス

郡公學ニ屬スル收入ハ貳萬壹千壹百五拾九圓ニシテ經常收入九千八百九圓臨時收入壹萬壹千參百五拾圓ナリ之ヲ前年ニ比シ經常五百貳拾貳圓臨時千九百圓ヲ増シタルハ授業料ノ收入多カリシト實業補習教育及實業學校ニ對スル縣補助增額セラレタルヲ主ナル原因トス

市公學費總額ハ四拾四萬九千八百五圓ニシテ經常費拾六萬六千六百貳拾壹圓臨時費貳拾八萬參千八百八拾四圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常參萬七千五百貳拾七圓臨時貳拾七萬七千八百八拾參圓ヲ増シタルハ教員ノ待遇ヲ厚クシタル爲俸給ニ於テ增額シタルト小學校舍新築ノ爲拾餘萬圓、縣師範學校新築費へ寄附貳萬圓、官立高等工業學校建築費中へ寄附拾參萬五千圓ノ多額ヲ要シタルニ基ケリ

市公學ニ屬スル收入ハ四萬參千六百四拾圓ニシテ前年ニ比シ五千八百參拾四圓ヲ減シタルハ授業料保育料等ニ於テ増シタルモ雜收入ニ於テ大減收ヲ爲シタルニ由ル

其ノ他市町村立各學校ニ在リテハ經費ノ殘餘寄附金ヲ以テ基本

町村公學費總額ハ貳百拾萬貳千九百五拾六圓ニシテ經常費百七拾壹萬百參拾貳圓、臨時費參拾九萬貳千八百貳拾四圓ナリ之ヲ前年ニ比スルトキハ經常四拾六萬參千八百六拾六圓臨時費拾六萬七千八百七拾四圓ヲ増シタルハ職員ノ待遇ヲ厚クシタル爲俸給雜給等何レモ增額ナラサルナキノミナラス其ノ他ノ各費ニ於テモ皆增加シタル結果ナリ

町村公學ニ屬スル收入總額ハ貳拾四萬四千參百參拾四圓ニシテ前年ニ比スルトキハ八百九拾九圓ヲ減シタルハ授業料其ノ他ニ於テ增額シタルモ寄附金ノ收入少ナカリシニ由ル

公學資産

本年度末公學資産ハ前年度末ニ比シ縣郡市町村トモ何レモ增額ナラサルナシ今其ノ現況ヲ叙述スレハ次ノ如シ

縣公學資産ハ土地六萬七千四百四拾肆坪建物一萬七千五百二十九坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ百九拾五萬四千參百四拾貳圓ニ上リ前年ニ比シ土地七百九十四坪ヲ減シタルモ建物四千八百十坪ヲ増シ總價額ニ於テ七拾萬四千五百四拾貳圓ヲ増シタルハ價格ノ騰貴ト設備ノ整頓ニ由レリ

縣公學基本財産ハ金額參萬六千貳百九拾六圓ニシテ外ニ本縣縣費へ繰入中ノモノ拾四萬貳千六拾六圓同模範林費へ繰入中ノモノ七萬七千七百七拾九圓ニ及フヲ以テ總額貳拾五萬五千五百四拾壹圓ニ上リ前年ニ比シ壹萬九百九拾參圓ノ増加ナリトス

郡公學資産ハ土地七千八百二十一坪建物二千三百六十二坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額拾參萬貳百壹圓ニ上リ前年ニ比スルトキハ土地八百九十二坪建物百九十五坪ヲ増シ又總價額ニ於テ參萬千四百六拾壹圓ヲ増シタリ但シ未ダ基本財産ヲ有セス

市公學資産ハ土地一萬五千七十二坪建物八千二百五十一坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額參拾七萬六千九百圓ニシテ前年ニ比シ價額參萬九千八百九拾四圓ヲ増シタリ

市公學基本財産ハ現在七千四百四拾六圓ニシテ前年ニ比シ貳千五百八拾九圓ヲ増シタリ

町村公學資産ハ土地十五萬二千九百八十七坪建物九萬二千二百七十三坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額四百四拾萬七千貳百參圓ニ上リ前年ニ比シ價額八拾五萬參千九百五拾七圓ヲ増シタリ

町村公學基本財産ハ現在金拾六萬六千六百八拾五圓土地其ノ他ノ價額拾壹萬四千貳百五拾五圓アリ前年ニ比シ金七萬七千四百貳拾五圓ヲ増シ價額壹萬九千七百拾參圓ヲ減シタリ又積立金六萬四千四百五十四圓アリ前年ニ比シ參萬參千五拾七圓ヲ増シタリ

公學基本財産蓄積ノ方法ハ縣立學校ニ在リテハ師範學校中學校高等女學校ハ明治三十六年度以後八十年間實業學校ハ明治四十一年度以後七十五年間授業料其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツルコトトシ本年度ニ於テハ次ノ收入ヲ蓄積シタリ

授業料手数料 收入ノ十分ノ一 (本年度ハ授業料ノ收入ヲ停止セリ)

生產品製作物 收入ノ十分ノ三

不用品賣却代、學費償還、基本財産利子及基本財産ヨリ生スル收入ノ全部

財産ヲ蓄積シ又學校林等ヲ増設シ基本財産ニ編入スルコト從來ニ同シ

學校維持ノ方法ハ主トシテ縣稅市町村稅ニ依リ其ノ他國庫補助授業料寄附金雜收入等ヲ以テ之ヲ補フコト亦從來ニ異ナラス

教育資金

本年度收入ハ資金利子參千七百貳拾八圓六拾九錢貸附金返還壹萬參千五百拾七圓貳拾七錢前年度繰越金貳萬七千貳百七拾四圓五拾貳錢貳厘國庫下附金參千五百五拾五圓五拾六錢ニシテ小學校建築費ニ充ツル爲壹萬貳千圓ヲ町村ニ貸附シ小學校教員十三人ノ疾病療治料トシテ貳千八百四拾八圓ヲ支給シ學事獎勵ノ爲貳千四百五拾貳圓五拾錢ヲ支出シタリ貸附金及獎勵金細別次ノ如シ

金壹萬貳千圓

內金參千圓

金參千圓

金參千圓

金參千圓

金貳千四百五拾貳圓五拾錢

內金百圓

金百五拾圓

金參百圓

金百圓

金八百圓

金貳百五拾圓

金六百五拾五圓

金九拾八圓

貸附金

福井市旭尋常小學校増築費へ

足羽郡麻生津尋常高等小學校移築費へ

吉田郡國山尋常小學校建築費

遠敷郡鳥羽尋常小學校改築費

獎勵費

小學校教員二人表彰

教育雜誌編輯部へ交附

私立仁愛女學校へ交附

福井聾啞學校へ交附

盲人教育獎勵交附

通俗教育施設者へ交附

學齡兒童保護費六町村及三十七團體へ交附

銀盃五箇代金

市町村立小學校教員加俸資金

年功加俸ハ教員中成績佳良ナル者ヲ選ビ隨時ニ之ヲ給與シ又特別加俸ハ加俸令第七條第一項若ハ第四項ノ場合ハ事實ノ發生シタル時直ニ同第二項第三項該當ノ場合ハ成績佳良ノ者ニ之ヲ給與シタリ

市町村立小學校教員住宅費

市町村立小學校教員住宅費補助ハ從來ニ同シク住宅建築費ノ總額ニ對シ其ノ十分ノ四以内ヲ交附セリ本年度ニ於テ補助シタルモノ次ノ如シ

金四百拾參圓

金貳百六拾圓

金百六拾七圓

坂井郡劔岳尋常高等小學校

坂井郡加戶尋常高等小學校

坂井郡兼乘尋常小學校

義務教育費國庫交附金

市町村ニ於ケル義務教育費國庫交附金ノ收入ハ拾貳萬七千貳百五圓ニシテ其ノ支途ヲ區別スルハ次ノ如シ

市 金八千六百參拾貳圓 教員増俸ニ充ツ

町村 金拾壹萬八千五百七拾參圓

內 金拾萬五千拾壹圓

金四千五百貳拾四圓

金壹萬七千六百七拾圓

教員増俸ニ充ツ

教育施設ノ改善ニ充ツ

住民負擔ノ輕減ニ充ツ

斯クノ如ク國庫交附金ノ大部分ハ教員増俸ニ充テタリト雖間接ニ於テハ全額拾貳萬七千貳百五圓ハ之ヲ悉ク住民負擔ノ輕減ニ充テタリト謂フヘキナリ

大正十一年八月三十日印刷

大正十一年九月七日發行

福 井 縣

石川縣金澤市高岡町九十番地

印刷者 大 村 重 松

石川縣金澤市高岡町九十番地

印刷所 明 治 印 刷 株 式 會 社

